

07年度官公需

中小向け発注50.1%に 政府、工事は50.5%目標

政府は、官公需法に基づき中小企業に関する国などの契約方針を決定した。07年度の官公需総予算額は8兆4560億円、このうち中小企業への契約目標は4兆240億円で設定した。全体の50.1%を占め、中小への発注比率が初めて半分を超えた。06年度実績は47.5%だった。工事に限定すると、中小企業への07年度契約目標率は50.5%となり、06年度実績の50.6%をやや下回る。

07年度工事契約目標率	省77.1%(77.1%)
(カッコ内は06年度実績)	▽財務省62.6%(59.9%)
▽衆議院60%(58.8%)	▽文部科学省16.9%(8.3%)
▽参議院50.1%	▽厚生労働省87.3%
▽最高裁(5.0%)	▽農林水産省(87.2%)
▽会計検査院10%	▽省64.0%(63.7%)
▽内閣府55.3%(49.1%)	▽経済産業省85.2%
▽総務省68.1%(53.1%)	▽国土交通省51.6%(50.9%)
▽法務省24.1%	▽環境省67.3%(56.9%)
▽外務省1%(21.9%)	▽防衛省63.9%